

平成 21 年度 春期 システム監査技術者試験 解答例

午後 試験

問 1

出題趣旨	
<p>近年、経営及び業務管理の機能強化をねらいとして ERP パッケージを導入する企業が増えている。ERP パッケージの多くは、業務処理のコントロール機能を備えている点において優れているが、“ERP パッケージだからすべてのコントロールが備わっていて安心”というわけではない。また、別のシステムが ERP パッケージと連携していることによってコントロールに不備が生じることもありえる。</p> <p>本問では、システム監査人として、ERP パッケージの特性及びその利用環境に基づいて、リスクに対応するコントロールを理解した上で、監査ポイントを整理できる能力が備わっているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	ミドルウェア上で多重ログインが禁止されていることを、設定画面を目視して確認する。		
設問 2	DB 用 ID のパスワードは、必要最小限の担当者しか知らないように管理すること		
設問 3	リスク	異動者の権限が削除申請漏れによって、引継期間を過ぎても使用できてしまう。	
	コントロール	異動者の元の所属部署での権限に期限を設定し、延長には申請が必要な手続にする。	
設問 4	販売管理システムから受け渡される売上実績データのバックアップを日次で外部保管すること		

問 2

出題趣旨	
<p>金融商品取引法に基づく内部統制報告制度では、財務報告の信頼性を確保するための内部統制の整備・運用を行うとともに、その有効性の評価及び報告が求められている。業務プロセスにおいて情報システムが利用されている場合には、IT 全般統制及び IT 業務処理統制を評価し、その有効性を確かめる必要がある。</p> <p>本問では、内部統制報告制度の趣旨を踏まえて、システム監査人として、監査計画の立案に際して必要とされるリスクに基づくコントロール目的やコントロール機能の把握を行うための能力が備わっているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	理由	B 社の自己評価であり、内部統制上の不備を適切に報告してくれるとは限らない。	
	解決策	B 社の自己評価に対し、A 社自らも B 社で評価作業を行う。	
設問 2	(1)	未受信一覧表で休日店舗以外の出力の有無を確認し、対象店舗の締め処理を促す。	
		A 社	ユーザ ID が承認された依頼書に基づきメンテナンスされる。
	B 社	債権の入金データは、入力データ承認機能で確定される。	
設問 3	条件がすべて正確に設定されないと、売上合計表の集計金額を間違えること		

問3

出題趣旨	
<p>通信販売業では、顧客情報を中心として、顧客ごとの受注、配送、入金、代金回収などを管理する顧客管理システムがビジネスのなめになっている。その一方で、営業時間外の受注や問合せに対応するため、当該業務が外部委託されることもあり、新たなリスク要因が生まれている。</p> <p>本問では、顧客管理に係る様々なリスクに対応するコントロールの機能状況を確認するための監査手続上のポイントを把握した上で、コントロールの不備を指摘できる应用能力があるかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	住所、電話番号、氏名のすべてが一致しないと名寄せされず、注文限度額を超えられるから		
設問2	記録	注文履歴の中の、許可された特別注文	
	確認すべき内容	対応する特別注文申請書が存在し、“許可”の記載と通信販売課長の押印がある。	
設問3	(1)	C社に業務を委託した時間帯以外に顧客管理システムにアクセスしても発見できないから	
	(2)	M社の情報システム部員がDBサーバのデータにアクセスしても発見できないから	

問4

出題趣旨	
<p>近年、セキュリティの強化や内部統制報告制度の導入などの理由によって、IT部門から内部監査部門に異動して、システム監査を担当するようになるケースが増えている。こうした場合、ITや開発・運用に関する知識は十分にあるものの、システム監査に関する知識や経験の不足から、思わぬ勘違いや誤りを犯すことも少なくない。</p> <p>本問は、新たにシステム監査を担当することになった新任監査人が陥りがちな問題点についての出題であり、独立的立場にあるべきシステム監査人としての基本的な姿勢を理解しているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	<ul style="list-style-type: none"> 異動直前に対象システムの開発に関与しており、監査人の独立性が不十分である。 抜き打ち方式は、コントロール状況を確認するヒアリングには不適切である。 		
設問2	開発三課と営業課の合同リハーサルは、ユーザ部門のレビューの代替的統制と考えられるから		
設問3	項番		
	内容	Y課長に要件定義書のコピーを送付するだけで、承認を得ていない。	
設問3	項番		
	内容	ユーザ部門に将来の業務処理量の予測を確認すべき	
設問4	項番		
	理由	テスト担当者への質問だけでは、すべての問題点が適切に対応されたことの確証が得られないから	